

松ほっくり

2008年 秋号

◆国松石材株式会社

発行所/国松石材株式会社

創業地 福岡市博多区下呉服町8-35
 平尾店 福岡市中央区平和3-12-27 (平尾霊園下)
 TEL 092-401-4194/FAX 092-401-4189
 墓石ガーデン 福岡市東区香椎472-3 (三日月山霊園下)
 TEL 092-672-7257/FAX 092-672-7258
 工場 福岡市東区松田3-16-12
 TEL 092-629-1189/FAX 092-629-2043
 ホームページ <http://www.kunimatu.com>

はこぎきぐう 筥崎宮



○楼門 (国指定重要文化財)

筥崎宮は、筥崎八幡宮とも称し、宇佐神宮、石清水八幡宮とともに日本三大八幡宮に数えられます。御祭神は筑紫国蚊田の里、現在の福岡県宇美町にお生まれになられた応神天皇を主祭神として、神功皇后、玉依姫命をお祀りしています。創建の時期については諸説ありますが、古録によれば、平安時代中頃の延喜二十一年(西暦九二二)、醍醐天皇が神勅により「敵国降伏」の宸筆を下賜され、この地に壮麗な御社殿を建立し、延長元年(九二三)筑前大分宮(穂波宮)より遷座した事になっていきます。

鎌倉中期、蒙古襲来(元寇)のおり、神風が吹き未曾有の困難に打ち勝ったことから、厄除・勝運の神としても有名です。後世は足利尊氏、大内義隆、小早川隆景、豊臣秀吉など歴史に名だたる武将が参詣、武功・文教にすぐれた八幡大神の御神徳を仰ぎ筥崎宮は隆盛を辿りました。江戸時代には福岡藩初代藩主黒田長政、以下歴代藩主も崇敬を怠ることはなかったそうです。現在では福岡ソフトバンクホークスやアビスパ福岡の選手たちが必勝祈願に来宮されることでもよく知られています。

国道三号線から本殿に向かい参道を歩いて行きます。約八百m先、正面に鳥居を見ることが出来ます。一の鳥居と呼ばれている鳥居で、慶長十四年(一六〇九)、藩主黒田長政が建立したものです。そしてその奥には、筥崎宮のシンボルである風格ある楼門が壮大に聳えています。この楼門は、文禄三年(一五九四)筑前領主小早川隆景が建立、建坪はわずか十二坪ですが、八十三坪余りの雄大な屋根を有した豪壮な建物です。「敵国降伏」の扁額を掲げていることから伏敵門とも呼ばれています。

○本殿・拝殿
(国指定重要文化財)



○千利休奉納の石灯籠
(国指定重要文化財)



「敵国降伏」の宸筆
 敵国降伏の御宸筆は筥崎宮に伝存する第一の神宝で、紺紙に金泥で鮮やかに書かれています。社記には醍醐天皇の御宸筆と伝わり、以後の天皇も納められた記録があるそうです。特に文永十一年(一二七四)蒙古襲来により炎上した社殿の再興にあたり亀山上皇が納められた事跡が有名です。楼門に高く掲げられている額の文字は文禄年間、筑前領主小早川隆景が楼門を造営した時、謹写拡大したものです。



○一の鳥居 (国指定重要文化財)

さて宮崎宮では四季を通して様々な祭事が開催されています。この時期の祭事といえば、何ととっても放生会大祭でしょう。博多の町に秋の訪れを告げてくれます。

生きとし生けるものの生命を慈しみ守られる八幡大神の御心にこたえる祭りで、実りの秋を迎えて海山の幸に感謝を捧げる祭りでもあります。千年以上前から続いている最も重要な祭典で、どんたく、山笠とならび、博多三大祭りにも数えられ、百万を数える参拝客でにぎわう九州随一の秋祭りです。古くは博多の各町内が着物やごちそうを持ち寄り「幕出し」といわれる大宴会に興じていたそうです。

祭り期間中は参道一带に七〇〇もの露店が立ち並びます。また放生会名物の代表格といえば、「チャンポン」です。ガラスの管を吹くと、底の部分がペコン、ポコンと音を立てます。江戸末期から売り出されているそうです。絵付けはすべて巫女さんたちの手で行われており、例年六月くらいから作業を始めるほど手間がかかるそうです。そしてチャンポンとともに人気なのが、博多人形師の集まりである白彫会メンバーの手による「放生会おはじき」です。これら二品は、十二日の朝八時から札所で販売されるのですが、早朝から行列ができ、あつという間に売り切れしてしまうほどの人気なのだそうです。

もともとは人間が生きるために犠牲となった生き物を供養する神事なのですが、参道に並ぶ露店、チャンポン、おはじきなど、参拝者には次から次へ目移りしてしまうほどたくさん魅力があるようです。

チャンポンやおはじきを目指して並ぶのもよし、生き物たちへの感謝の心を抱いて放生会の雰囲気を感じるものよいでしょう。宮崎宮の歴史や伝統に触れるのもいいでしょう。さあ、出かけましょう。魅力満載の宮崎宮へ！

ご協力ありがとうございました。

宮崎宮 権禰宜 古川幸雄様

おはじき

約30個入りの3千円。放生会初日の朝8時、札所にて販売されます。売り切れ御免の大人気。中には、前の晩から並ぶ人も。



葉付の新しょうが

その昔は箱崎農家の特産品。放生会のお土産に、博多のごりよんさんたちが買い求めました。葉は風呂に、根は楽しんでんだとか。



《宮崎宮の四季》

・月次祭 毎月一日・十五日

・三元祭 一月一日

年の始、月の始、日の始の意味で年新まる元旦の朝執り行う祭典。

・玉取祭（玉せせり） 一月三日

全国に知られる奇祭。盛大かつ嚴重に行われています。陰陽二つの玉が用意され、陽玉は、競り子たちに手渡され、玉せせりが始まります。玉に触れると悪事災難をのがれ、幸運を授かるといわれています。

・建国記念祭 二月十一日

・祈年祭 二月十七日

・春季社日祭（お潮井とり）

春分の日に近い「戊」の日

・さつき大祭 五月二十七日・二十八日

・池島殿祭 六月第四日曜日

・夏越祭り

七月の最終日曜日とその前日

・七夕祭 八月七日

・放生会 九月十二日〜十八日

・秋季社日祭（お潮井とり）

秋分の日に近い「戊」の日

・七五三祭 十一月十五日

・新嘗祭 十一月二十三日

・御降誕祭 十二月十四日

・天皇誕生祭 十二月二十三日

・御袍衣祭 十二月三十一日

亀山上皇の原型木像、 宮崎宮へ里帰り。

明治十九年（一八八六）に福岡警察に赴任してきた湯地文雄は、福岡に元寇の記念碑が無いことを遺憾に思い、国威高揚と元寇で散った魂の鎮魂を願い、亀山上皇の銅像の建立を呼びかけます。

湯地氏は、二十年余り資金集めに奔走し、明治三十七年（一九〇四）銅像は完成します。

原型となる木像は、高村光雲門下の山崎朝雲の制作です。木像は、二十年間行方不明となりましたが、東京で見られ、修復後、読売新聞社に安置されます。

そして今年、平成二十年四月三日、様々な人の尽力によって、読売新聞社から宮崎宮に寄贈されました。宮崎宮は元寇の際、亀山上皇が敵国降伏を祈願した歴史的なつながりもあるので、制作から百年を経て、ようやく湯地氏も希望した宮崎宮へ里帰りしたので

す。木像は、九州国立博物館で調査後、二〇一一年より宮崎宮で一般公開が予定されています。

※湯地文雄顕彰会の牟田敏雄様より、取材のご協力を頂きました。

町名散歩

第十五回

馬出

元寇の折、猛将竹崎季長が駆け抜けた千代の松原。

かつては景勝地ともうたわれたこの『千代乃松原』の一部を占める馬出は、東区笹崎宮の参道西側から、東公園および崇福寺手前までの間に位置しており、現在では九大病院の所在地として知られています。

古くは馬屋出町や那珂郡馬出村、馬へ出し町といわれた馬出。『筑前国続風土記』によると、笹崎宮の神輿が博多にあった恵比須神社まで下向する際に馬を出したのでこの名が付いたとされます。江戸期初頭には、檜や杉材を細工する檜物師が多く住み、中でも社人の流れをくむ曲物作りでは、笹崎宮の神具・神敷・三宝などの祭具をはじめ、飯びつ・折り箱などの民具も作られ、『博多曲物』として親しまれています。

明治に入ると、堅粕村と合併して千代村の一部となりました。松原の中心に県立公園第一号となる東公園が開発されたのを皮切りに、十日恵比須神社や福岡医科大学（現九大医学部の前身）、洋風劇場博多座が建ち並びます。なお、海辺付

近には全国に先駆けてできた本格的水族館Ⅱ箱崎水族館が開園。玄界灘の魚介類や鳥類が展示されました。

昭和三年、福岡市に編入して福岡市大字馬出となります。昭和八年には、

昭和天皇の御大典記念に計画された記念動物園が、全市民の寄付で建設され、東公園の一部に開園します。戦局の悪化によって閉園しましたが、馬出地区への空襲はまぬがれました。戦後、動物園は南公園に再建されます。

そして名勝千代乃松原の松たちは、海岸部の埋立てや国道三号線と都市高の開通、昭和五十六年の福岡県庁移転にともない、姿をなくしていきました。

福岡の元祖動物園Ⅱ東動物園跡地にあたる、現・馬出小学校の片隅には、動物園正門の復刻版が残っています。

キリンをかたどった一對の門柱には、双方にゾウの顔がくっついており、それらが互いを向き合っています。



「この地が本家本元ですゾ」とでも語りかけるような目つきと、誇らしげに伸びた鼻が、なんともユーモラス。今日も校庭の横から、ソーツと子どもたちを見守っています。

知識の泉

書体

お墓に刻まれている文字を思い出しみて下さい。印刷用の活字（明朝体など）とは異なりますよね。お墓にも使用される毛筆書体には、篆書・隷書・草書・行書・楷書という5つの書体があります。大和時代に中国から伝わってきた漢字、今回はその毛筆書体について説明していきます。

篆書 殷時代から秦時代に使用されていた最も古い書体です。象徴的な要素を保っていて、他の書体にはない造形的な独特の面白みや装飾性に富む形です。現在では印章などに用いられることが多くあります。

隷書 秦時代に篆書を簡略化したものとして生まれ、漢時代に使われていました。隷書は左右のはらいで波打つような運筆（波磔）をもち、横長であるのが主な特徴で、楷書よりも字全体の重心が低く安定した感じになります。

草書 漢時代に発生し、早く書くことができるよう字画の省略が大きく行われました。幾通りかの書き方があります。

行書 後漢時代に始まり、東晋時代に王羲之らの名手によって芸術的に開花しました。楷書の明確さと草書の簡便さをあわせもった書体です。楷書に比べて速く書くことができるうえ、草書に比べて読みやすいという利点もあり日常的に広く用いられています。書き方を変化させることによって色々な性質（力強い・軽やか・暖かい・柔らかさなど）を表現することができます。

楷書 現在一番多く使われている書体です。三国時代から、晋、魏時代と使用され、完成期は唐時代と言われています。横線は、筆の打ち込み、中間の線、筆の止めがはっきりしていること（三過折）が特徴です。

以上、5つの書体についてご紹介させていただきました。時代の進展する中で、線の組み立て方や書き方が次第に変化し、実用的には簡略化の道を、美的には抽象化の道をたどって進化してきたことが分かります。お墓だけでなく、街の看板などに目を向けると様々な書体が使われています。皆さんはどんな書体がお好みですか？

篆書 隷書 草書 行書 楷書
石 石 石 石 石

墓石ガーデン おやすみします

墓石ガーデンは展示場改装のため、休店とさせていただきます。

しばらくの間、皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

年内には展示品も一新して、明るい雰囲気の良い展示場に生まれ変わります。

平尾店オープンのお知らせ

福岡市立平尾霊園前に平尾店がオープンいたしました。業界で初めてグッドデザイン賞を受賞した墓石や一流デザイナー・彫刻家によるデザイン墓石、ドイツ人マイスター手作りの墓石（国内初展示）など新しいタイプのお墓を展示し、皆様のお越しをお待ちいたしております。ぜひ一度お立ち寄り下さい。

より充実したサービスで皆様のご要望にお応えできますよう、社員一同全力を挙げてまいります。

尚、平尾店オープンに伴い、志免町の営業本部は、9月末日をもちまして閉店とさせていただきます。



所在地：福岡市中央区
平和3丁目12-27
(平和3丁目バス停前)
電話番号：092-401-4194
営業時間：8:00～18:00

(年末・年始はお休みです)



第7回「松ぼっくり杯」ゴルフコンペ開催のご案内

開催日時：平成20年11月8日(土)AM9:29スタート(※集合8:50)

コース：福岡サンレイクゴルフ倶楽部 ベストアメニティコース

住所：福岡県みやま市高田町上楠田1519-2、電話：0944-22-3309

(※九州自動車道南関インターより車で10分・福岡市内より60分)

Http://www.sunlake.jp/

参加費：8,600円(税込)※プレイ費・パーティ費・カート費込み。食事代は含まず。

募集人数：24名(6組)予定

お申し込み：同封のハガキにてお申し込み下さい。

締め切り：平成20年9月30日(火)必着

◎詳細は後日、参加者の方にお知らせいたします。

一緒にゴルフを楽しみませんか？ご家族・お友達とお誘いあわせの上、ふるってご参加下さいませ。
是非、初心者の方も！ ころよりお待ちしております。

お問合せ ☎ 0120-245400 担当：古川・森
(092-957-3500)

プレゼント 当選者発表

厳正なる抽選の結果、次の方々が当選されました。
たくさんのご応募ありがとうございました。

- ①商品券5,000円分
大久万里子様、他3名様
- ②ホークス観戦ペアチケット
菰田雄二様、芥野俊彦様
- ③大吟醸 上善如水
今給黎剛一様、他4名様
- ④如水庵 最中詰合
武井俊哉様、他14名様

第3回 初夏のハイキングのご報告

5月17日(土)大分県^{はねやま}万年山(1,140m)。スタッフ7名を含めた51名が参加しました。万年山へ登る途中では、快晴の空の下、ミヤマキリシマの群生に出合えました。

参加された方も、温泉、夢の大吊橋と行くうちに打ち解けて仲良くなり、楽しんでいただけたようです。後日、御礼のお手紙などをいただきました。ありがとうございました。

山頂へ ミヤマキリシマ 明りかな

～俳句雑誌『手』松本ヤチヨ様より～



↑万年山の山頂にてパチリ！

